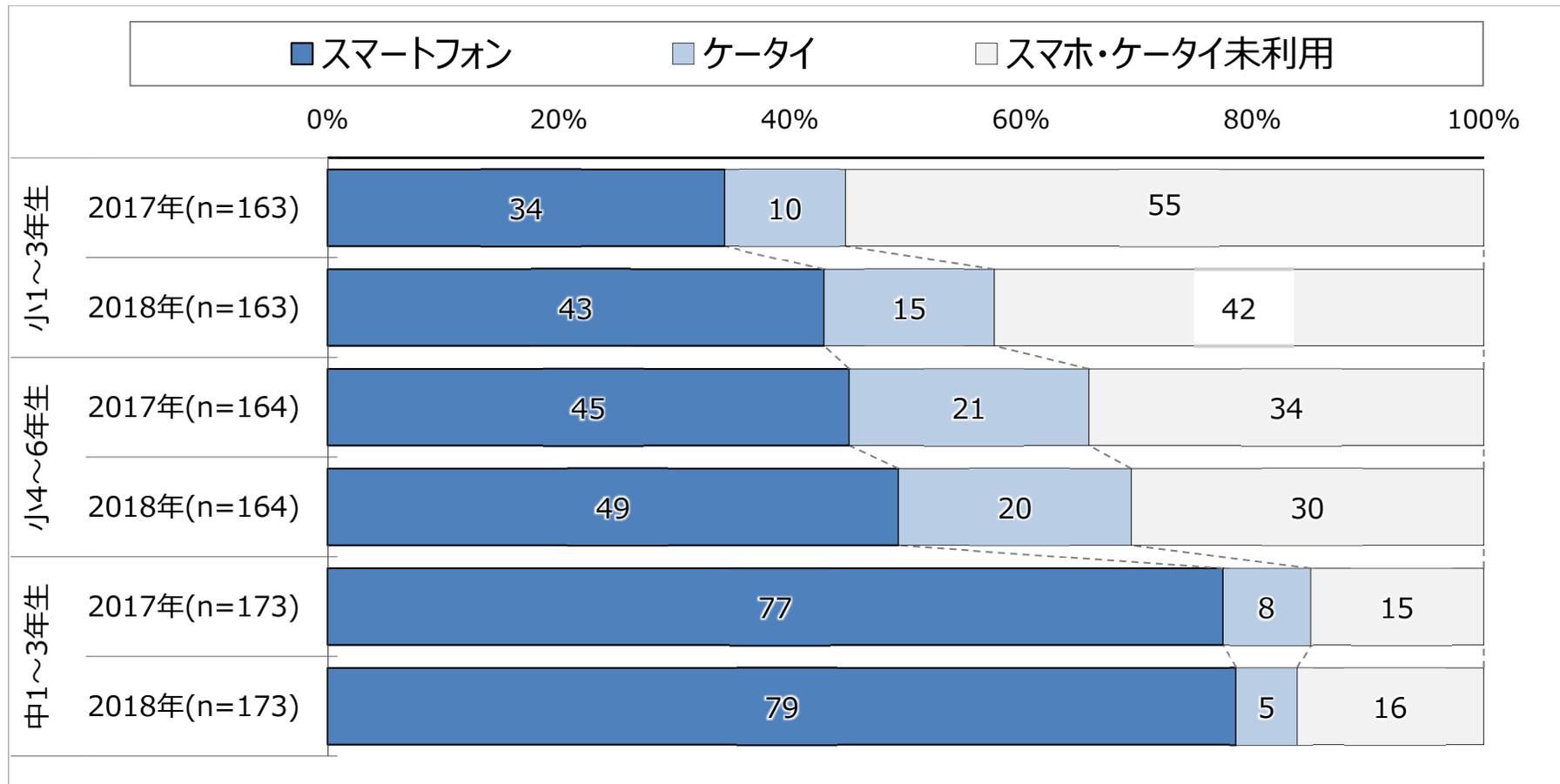


モバイル利用のライフスタイル研究(2) —保護者の介入スタイルと小中学生のICT利用の関係—

- 栗原 俊介 (NTTドコモ モバイル社会研究所)
- 吉良 文夫 (NTTドコモ モバイル社会研究所)
- 菅原 ますみ (お茶の水女子大学)
- 飽戸 弘 (東京大学名誉教授)

- ・スマートフォン利用率(家庭で共有しているスマホ利用を含む)は、小学生では3~4割。中学生では約8割。
- ・中学校入学を機にスマートフォン利用率が拡大。



注1：関東1都6県在住の小中学生の子どもを持つ保護者が回答。

注2：家族などで共有しているものを含め、子どもが利用している機器の有無を保護者が回答。

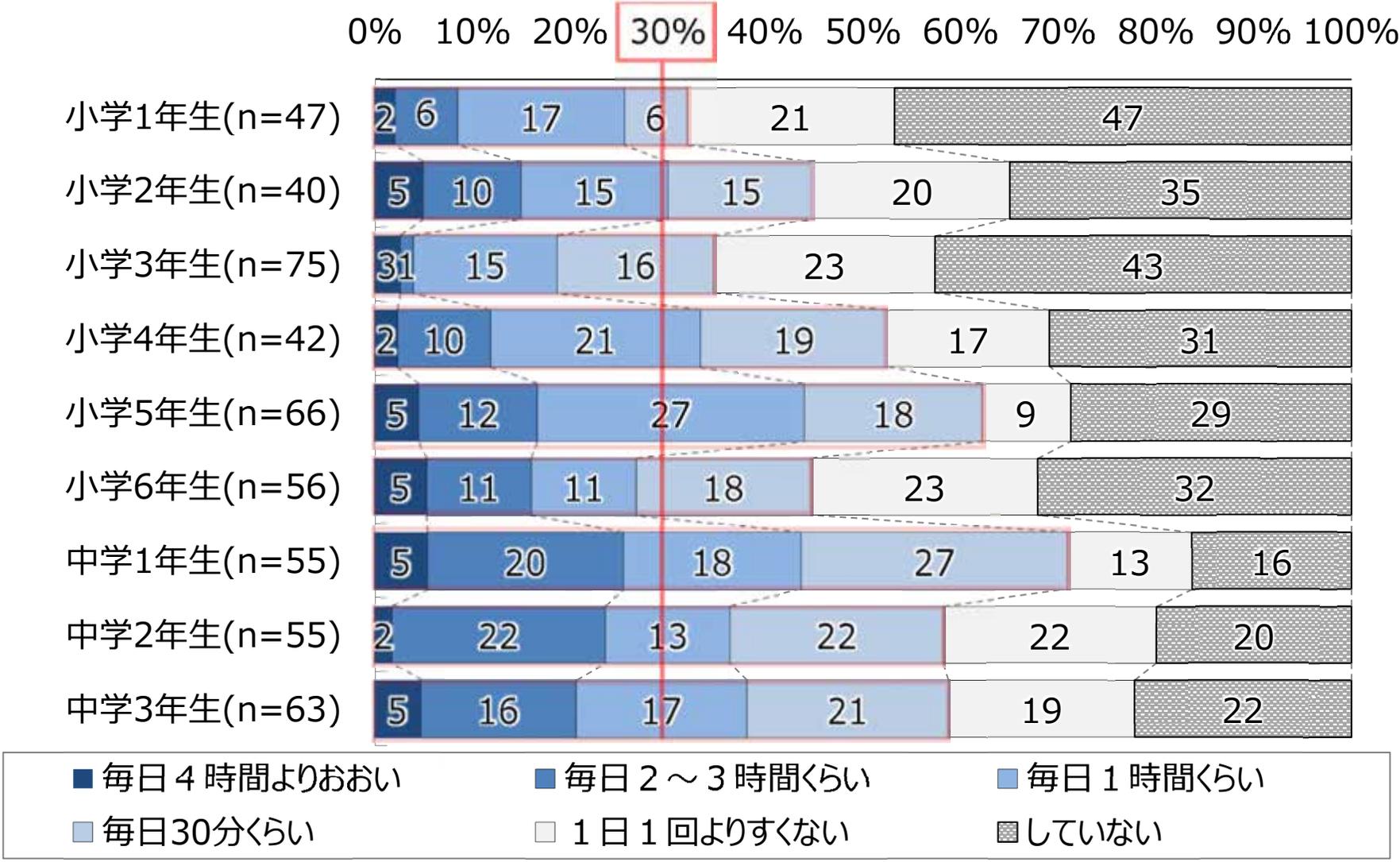
注3：「スマホ」は回線契約をしているスマートフォン、いわゆる格安スマホ、キッズスマホ、回線契約なしのスマートフォンを含み集計。

注4：スマートフォンとキッズケータイ・フィーチャーフォンをどちらも利用している場合は、スマートフォン利用として集計。

注5：「ケータイ」は、スマートフォン以外のフィーチャーフォンやキッズケータイを指す。

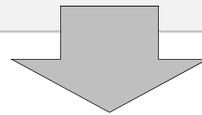
出所：子どものケータイ利用に関する調査2017(訪問面接),2018(訪問留置)

・毎日YouTubeを見る小中学生はいずれの学年でも3割を超える。

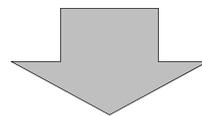


注：関東1都6県在住の小中学生が回答。
出所：子どものケータイ利用に関する調査2018(訪問留置)

・スマホの普及に伴い, 毎日YouTubeを利用する子どもは小学1年から3割を超えており中学生になると6割程度に達している^[1]。スマホやインターネットが子どもに浸透する中で, その影響を明らかにすることが求められる。



・スマホ利用の低学年化, インターネット利用時間の拡大などの実態を踏まえ, 小中学生のICT利用と保護者の介入スタイルとの関係を明らかにするため, **全国の小中学生の親子に調査を実施。**



・本稿では, 子どものテレビ視聴に対する**保護者の介入スタイル尺度のICT版**を作成し, それを用いて分析をした結果について考察する。

[1] NTTドコモ モバイル社会研究所 (2019). ケータイ社会白書2019年版, 48-52.
https://www.moba-ken.jp/whitepaper/wp19/pdf/wp19_all.pdf (2020年8月20日)

調査の実施方法は以下

- ・調査方法：訪問留置調査(2019年9月に実施)
- ・調査対象：全国の小中学生とその保護者1,000世帯
- ・調査内容：ライフスタイル変数、ICT 利用状況、基本属性
- ・標本抽出法：層化二段抽出[クォータサンプリング法(都市規模別性年代)]
母集団(H27年国勢調査)の人口に基づき、7～15歳の都市規模別人口構成比に応じて、町丁目(100地点)を比例配分して抽出し、抽出された町丁目において、7～9歳、10～12歳、13～15歳の都市規模別性年代人口構成比に応じて個人を割り当て、該当者をランダムウォーク法で抽出

親の介入スタイルについて、左記の赤字の文言を「インターネットのサイトや動画」という文言に改訂し、ICT利用版として実査。

子どものテレビ視聴に対する親の介入スタイル尺度	4	3	2	1
	いつも	時々	めったにない	全くない
子どもが見ている テレビ の内容について理解するのを手助けする	4	3	2	1
テレビ に出てくる人がするよい行いについて、その理由を説明する	4	3	2	1
テレビ に出てくる人がする悪い（よくない）行いについて、その理由を説明する	4	3	2	1
テレビ に出てくるキャラクターの真意・動機について説明する	4	3	2	1
テレビ で映っていることの本当の意味を説明する	4	3	2	1
不適切な内容の テレビ番組 を見ていたら、消すように言う	4	3	2	1
テレビ を見てよい時間帯を決めている	4	3	2	1
特定の 番組 を見ることを禁じている	4	3	2	1
テレビ を見てよい時間量（一日〇〇分など）を決めている	4	3	2	1
見てよい 番組 を事前に指定している	4	3	2	1
〇〇さんもあなたも好きな 番組 を一緒に見る	4	3	2	1
〇〇さんもあなたも興味を持っている 番組 を一緒に見る	4	3	2	1
ただ楽しむために〇〇さんと一緒に テレビ を見る	4	3	2	1
あなたの好きな 番組 を〇〇さんと一緒に見る	4	3	2	1
テレビ を見て〇〇さんと一緒に笑う	4	3	2	1

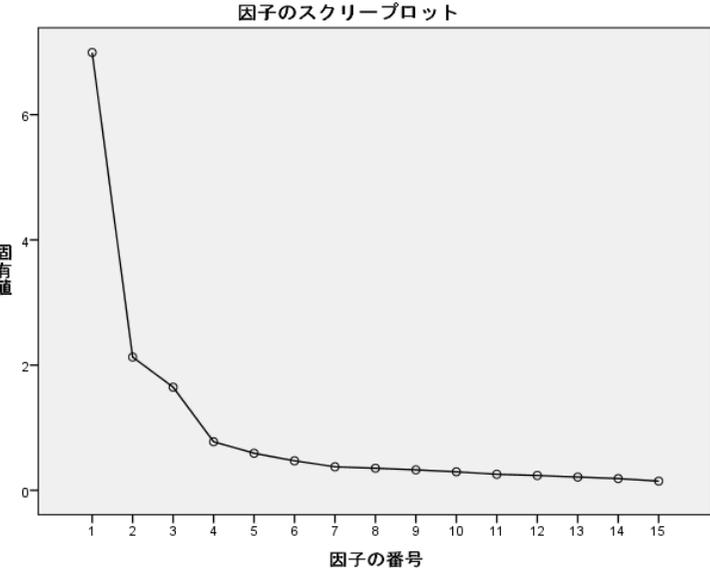


子どものテレビ視聴に対する親の介入スタイル尺度(ICT利用版)	4	3	2	1
	いつも	時々	めったにない	全くない
子どもが見ている インターネットのサイトや動画 の内容について理解するのを手助けする	4	3	2	1
インターネットのサイトや動画 に出てくる人がするよい行いについて、その理由を説明する	4	3	2	1
インターネットのサイトや動画 に出てくる人がする悪い（よくない）行いについて、その理由を説明する	4	3	2	1
インターネットのサイトや動画 に出てくるキャラクターの真意・動機について説明する	4	3	2	1
インターネットのサイトや動画 で映っていることの本当の意味を説明する	4	3	2	1
不適切な内容の インターネットのサイトや動画 を見ていたら、消すように言う	4	3	2	1
インターネットのサイトや動画 を見てよい時間帯を決めている	4	3	2	1
特定の インターネットのサイトや動画 を見ることを禁じている	4	3	2	1
インターネットのサイトや動画 を見てよい時間量（一日〇〇分など）を決めている	4	3	2	1
見てよい インターネットのサイトや動画 を事前に指定している	4	3	2	1
子どももあなたも好きな インターネットのサイトや動画 を一緒に見る	4	3	2	1
子どももあなたも興味を持っている インターネットのサイトや動画 を一緒に見る	4	3	2	1
ただ楽しむために子どもと一緒に インターネットのサイトや動画 を見る	4	3	2	1
あなたの好きな インターネットのサイトや動画 を子どもと一緒に見る	4	3	2	1
インターネットのサイトや動画 を見て子どもと一緒に笑う	4	3	2	1

因子分析の結果は以下となり、おおむね当初に想定していた3因子に分かれた。

回転後の因子行列

	指示的介入	社会的共視聴	制限的介入
a. 子どもが見ているインターネットのサイトや動画の内容について理解するのを手助けする	0.671	0.255	0.248
b. インターネットのサイトや動画に出てくる人がするよい行いについて、その理由を説明する	0.823	0.235	0.186
c. インターネットのサイトや動画に出てくる人がする悪い（よくない）行いについて、その理由を説明する	0.785	0.237	0.238
d. インターネットのサイトや動画に出てくるキャラクターの真意・動機について説明する	0.806	0.251	0.157
e. インターネットのサイトや動画で映っていることの本当の意味を説明する	0.801	0.201	0.185
f. 不適切な内容のインターネットのサイトや動画を見ていたら、消すように言う	0.473	0.195	0.418
g. インターネットのサイトや動画を見てよい時間帯を決めている	0.162	0.158	0.75
h. 特定のインターネットのサイトや動画を見ることを禁じている	0.274	0.075	0.606
i. インターネットのサイトや動画を見てよい時間量（一日〇〇分など）を決めている	0.084	0.149	0.798
j. 見てよいインターネットのサイトや動画を事前に指定している	0.222	0.125	0.6
k. 子どももあなたも好きなインターネットのサイトや動画を一緒に見る	0.226	0.828	0.159
l. 子どももあなたも興味を持っているインターネットのサイトや動画を一緒に見る	0.24	0.854	0.189
m. ただ楽しむために子どもと一緒にインターネットのサイトや動画を見る	0.24	0.819	0.121
n. あなたの好きなインターネットのサイトや動画を子どもと一緒に見る	0.187	0.767	0.125
o. インターネットのサイトや動画を見て子どもと一緒に笑う	0.23	0.775	0.142



3因子での初期固有値 : 1.648
 回転後の累積寄与率 : 65.0%

因子抽出法: 主因子法、回転法: Kaiser の正規化を伴うバリマックス法

構成項目の因子分析を実施したところ、いずれも一次元性が確認された。

	共有視聴の設問	因子負荷	平均値	標準偏差
共有 視聴	子どもあなたも好きなインターネットのサイトや動画を一緒に見る	.828	2.31	.896
	子どもあなたも興味を持っているインターネットのサイトや動画を一緒に見る	.854	2.29	.897
	ただ楽しむために子どもと一緒にインターネットのサイトや動画を見る	.819	2.25	.886
	あなたの好きなインターネットのサイトや動画を子どもと一緒に見る	.767	2.06	.876
	インターネットのサイトや動画を見て子どもと一緒に笑う	.775	2.49	.890
	α係数		.930	
	指示的介入の設問	因子負荷	平均値	標準偏差
指示 的 介 入	子どもが見ているインターネットのサイトや動画の内容について理解するのを手助けする	.671	2.06	.864
	インターネットのサイトや動画に出てくる人がするよい行いについて、その理由を説明する	.823	1.95	.833
	インターネットのサイトや動画に出てくる人がする悪い行いについて、その理由を説明する	.785	2.20	.934
	インターネットのサイトや動画に出てくるキャラクターの真意・動機について説明する	.806	1.84	.771
	インターネットのサイトや動画で映っていることの本当の意味を説明する	.801	1.92	.822
	α係数		.919	
	制限的介入の設問	因子負荷	平均値	標準偏差
制 限 的 介 入	不適切な内容のインターネットのサイトや動画を見ていたら、消すように言う	.418	2.38	1.152
	インターネットのサイトや動画を見てよい時間帯を決めている	.750	2.68	1.165
	特定のインターネットのサイトや動画を見ることを禁じている	.606	2.10	1.118
	インターネットのサイトや動画を見てよい時間量(一日〇〇分など)を決めている	.798	2.64	1.189
	見てよいインターネットのサイトや動画を事前に指定している	.600	2.00	1.095
	α係数		.820	

合成得点の平均値の差の検定から、以下の傾向が示された。

- ◆『共有視聴』と『指示的介入』の合計得点は、学習目的にインターネットを利用している子どもの方が高い。
- ◆制限的介入の合成得点は、ペアレンタルコントロールを利用している子どもの方が高い。

表1. 合成得点の平均値の差の検定結果(学習目的ネット利用)

	学習目的ネット利用	平均値	標準偏差
共有視聴合計得点 (***利用>未利用)	利用(402)	12.01	3.66
	未利用(583)	10.96	4.05
指示的介入合計得点 (***利用>未利用)	利用(405)	10.51	3.47
	未利用(583)	9.59	3.78
制限的介入合計得点	利用(406)	11.99	3.97
	未利用(581)	11.65	4.61

表2. 合成得点の平均値の差の検定結果(フィルタリング利用有無)

	フィルタリング利用有無	平均値	標準偏差
共有視聴の合成得点	利用(162)	12.25	3.68
	未利用(52)	11.63	4.06
指示的介入の合成得点	利用(162)	10.64	3.47
	未利用(52)	10.27	3.75
制限的介入の合成得点	利用(162)	13.09	3.96
	未利用(52)	11.90	3.91

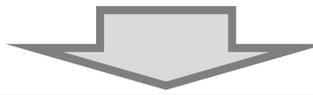
1. 目的

スマホ利用の低学年化, 学校へのタブレット利用拡大などの実態を踏まえ, 小中学生のICT利活用が, 子どもの生活に与えている影響を明らかにすることが求められる。
⇒本稿では小中学生のICT利用と保護者の介入スタイルとの関係について分析をした結果について考察。



2. 調査・分析方法

子どものテレビ視聴に対する保護者の介入スタイル尺度のICT版を作成し, 全国の小中学生に訪問留置調査を実施。共有視聴, 指示的介入, 制限的介入の合成得点の平均値の差の検定から, 学習目的のネット利用有無と携帯電話利用者のフィルタリング利用有無との関連を分析。



3. 分析結果

学習目的にインターネットを利用している子どもの保護者は, 共有視聴と指示的介入の得点が高い傾向があり, フィルタリングを利用している子どもの保護者は制限的介入の得点が高い傾向が見られた。

小中学生がICTを利用することによる機会の伸長とリスクの回避について, 保護者の介入スタイルが一定の影響を与えている可能性が示唆された。